

会 議 録

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	企画政策課
会議名 (審議会等名)	第3回嬉野市総合計画審議会・総合戦略推進委員会		
開催日時	令和8年2月20日(金) 9:30～11:00		
開催場所	嬉野市中央公民館（塩田公民館）2階 大集会室		
会議の公開の可否	㊦ ・ 不可 ・ 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可 の場合はその理由			
出席者	委員 (敬称略)	山下勝一郎、戸田順一郎、西川潤一、深村頌子、坂口典子、 宮崎憲太郎、谷山佳世、久野裕子、山口輝	
	事務局	企画政策課長、副課長、主査	
	その他		
会議の議題	① 開会 ② 協議事項 (1) 第3次嬉野市総合計画基本構想案の承認 (2) 意見聴取結果報告 (3) 第2期総合戦略の改訂について ③ 閉会		
配布資料	① 第3回嬉野市総合計画審議会・総合戦略推進委員会次第 ② 第3次嬉野市総合計画基本構想案 ③ 第2期嬉野市まち・ひと・しごと創生総合戦略改訂版		
審議等の内容	別紙のとおり		

審 議 等 の 内 容

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	企画政策課
議 題	1. 第3次嬉野市総合計画基本構想案の承認 2. 意見聴取結果報告 3. 第2期総合戦略の改訂について		
内 容	1. 事務局より説明。委員質問・事務局回答、委員の意見等 2. 事務局より説明。委員質問・事務局回答、委員の意見等		
審議経過	事務局	1. 第3次嬉野市総合計画基本構想案の承認 (第3次嬉野市総合計画基本構想案について説明)	
	議長	ただいまの説明に対し、ご意見、ご質問がある方はご発言をお願いしたい。	
	委員	将来像の言葉について、前回会議の際にも意見を述べたが、今回の資料のように1つにまとめることは大変だったと思う。この案の内容でよいと思う。今後の嬉野市は移住される方を含めご案内することがあるが、観光地であるからこそ新しい賑わいや動きがある中で、暮らしもバランスよく生活できることが良いと思っている。温泉の水位の低下などの課題も結局は暮らしにつながることで、それらを両輪で考えていく必要があり、賑わいも安らぎも含まれていて良いと思う。	
	委員	久野委員の意見と同様、賑わいの言葉が入っていて良いと思った。	
	委員	「うれしいをいっしょに」という言葉は使わずに、「うれしいをここから」としているが、前者は使わなくなるのか。	
	事務局	「うれしいをいっしょに」はシティプロモーションの合言葉として総合計画に関わらず今後も使っていく。「うれしいはここから」は総合計画における合言葉として、総合計画ならではの10年間のフレーズとして捉えていただきたい。両者は共存する形になる。	
	委員	10 ページの一般市民と高校生のアンケートの円グラフについて、同じページ内に高校生のアンケート結果の円グラフが含まれていると一瞬誤認してしまうため、項目の四角の部分に「1. 市民アンケート」「2. 高校生アンケート」のように番号を付けてわかりやすく表記してほしい。	
	事務局	番号を加えてわかりやすく修正したい。	

議長	1 ページの策定の目的の文章に「(活気)」、「(癒し)」とあるが、括弧書きの表現となっており、表現としてまだ固まっていないのか、完成版でもこのままなのか。文章なのであまり説明を付与するよりも、すっきりさせた方がよいとも感じる。後述の将来像については括弧書きの記載がないため、意図を確認したい。
事務局	補完する役割として一旦記載をしているが、将来像と直結させることに重きを置くのであれば「(活気)」、「(癒し)」を削除したい。
議長	賑わいと安らぎについてもこだわるのであれば、平仮名、漢字表記を合わせたほうがよいのではないかな。
委員	括弧書きは外した方がよい。
委員	私はそこまで気にならない。むしろ将来像として提示した時に、すべて平仮名にした場合、「安らぎ」を漢字にしているところが少し気になる。文字にした時の感じ、バランスについてどう考えているか。
事務局	文字にした時の感じを気にしている。あえて前段の「賑わい」を平仮名にして、後段の「安らぎ」を漢字にしている。すべて平仮名、すべて漢字など並べてみてバランスを検討した。極力わかりやすい計画としての策定を心掛けている。
委員	「賑わい」と「やすらぎ」の文字色を変えるなどの工夫はどうか。
事務局	冊子のデザインの際に取り入れて検討してみたい。
議長	漢字にした場合の読みにくさと平仮名にした際の読みにくさがあり悩ましいが、よいバランスを検討いただきたい。
事務局	漢字や平仮名の表記については、こどもたちにも分かりやすく、センテンスとしても分かりやすい点を含めて事務局内で検討していきたい。
委員	7 ページ、国と県の動きについて、「地域自らが課題解決に取り組む体制づくりを後押しする動き」や、下段の「地域が主体となった取組を支える役割を担っています」というのは誰が担っているのか。主語が分かりづらい。
事務局	国や県の方針として記載をしているため、国や県が主体として地域を後押ししていく役割を記載している。
事務局	2. 意見聴取結果報告 (意見聴取結果報告(市民アンケート調査結果報告書、意見ボードとり

		まとめ結果報告書、ワークショップ結果報告書) について説明)
議長		幅広い層から意見を頂戴でき、素晴らしい取り組みだと思った。リクエストとして、これだけ意見を出していただいたので、この結果が計画にどう反映されたか、あるいは数年後に別の政策でどう実現されたかということを、意見を出してくれた方に何らかの形でフィードバックしてほしい。次回の意見聴取の際にも、前回の意見がこう形になりましたよと情報発信することで、市民との対話を継続していただきたい。
委員		議長のおっしゃる通り素晴らしい取り組みだと思う。こういう意見聴取については継続的に実施できないか。年に 1 回でも学校の総合的な学習などに組み込んで実施してほしい。先輩からの意見が今こう活かされている、あるいは今こういう取り組みをしているということを定期的に伝えていくことは、市民の生活満足度の向上につながっていくのではないと思う。
議長		教育との連携は継続的に実施できそうなので、ぜひ活かしていただきたい。
事務局		フィードバックについては、今後色々な分野で行っていくべきと考えている。まずは意見聴取の結果を各分野・各課に確認してもらい、今後の具体的な政策の展開について考えていくように進めている。フィードバックの具体的な形については市の中でも検討していきたい。
議長		パブリックコメントや行政への意見を募ってもなかなか出てこない中で、今回のように意見ボードをはじめ設定を工夫することで幅広い意見を聴取できたことは大きな気づきだったと思う。
事務局		3. 第 2 期総合戦略の改訂について (第 2 期嬉野市まち・ひと・しごと創生総合戦略改訂版について説明)
議長		ご意見、ご質問はいかがか。
事務局		(補足として) 第 2 期の計画は令和 8 年度までとしているが、令和 8 年度の最終的な効果検証については行いたいと考えている。令和 8 年度には新たな第 3 期の計画ができており、第 2 期と第 3 期の計画期間が重複してくるが、第 2 期と第 3 期をそれぞれ評価していく 2 段階の流れを想定している。
委員		4 ページ、「産官学勤労言士」となっているが、「勤」は「金（金融）」の誤りではないか。

	事務局	確認して修正したい。
	事務局	大門委員から一身上の都合により委員の辞退の申し出があった。市民公募として委員となられていたが、現状としては今後新たに市民公募を行う予定はない。今後は12名の委員構成となるが、引き続き委員会を進めていきたいと考えている。
その他	今後の委員会予定について説明 今後の委員会予定について説明。次回は令和8年4月23日（木）、塩田庁舎の3-2 会議室にて基本計画案について協議・検討予定。	